

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公表番号】特表 2020-536412 (P2020-536412A)

【公表日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2020-517372 (P2020-517372)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 72/04 1 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 3 日 (2021.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信のための、ユーザ機器 (UE) によって実行される方法であって、
 スロットフォーマットインジケータ (SFI) について制御チャネルを監視するためのデフォルトの監視周期を特定するステップと、
 受信された SFI に少なくとも一部基づいて、前記 SFI について前記制御チャネルを監視するための動的な監視周期を特定するステップと、
 前記動的な監視周期に少なくとも一部基づいて、前記 SFI について前記制御チャネルを監視するステップとを備え、
前記動的な監視周期が、前記デフォルトの監視周期より長い、方法。

【請求項 2】

第 1 の監視機会の間に、前記デフォルトの監視周期に少なくとも一部基づいてスロットの第 1 のセットと関連付けられる前記 SFI を復号するステップと、
 スロットの前記第 1 のセットの中のスロットの数に少なくとも一部基づいて、第 2 の監視機会を特定するステップと、
 前記第 2 の監視機会の間に、スロットの第 2 のセットと関連付けられる前記 SFI について前記制御チャネルを監視するステップとをさらに備え、
スロットの前記第 2 のセットが、スロットの前記第 1 のセットの後の次のスロットを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記動的な監視周期と関連付けられない監視機会の間に前記制御チャネルを監視するのを控えるステップをさらに備える、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記デフォルトの監視周期と関連付けられる 1 つまたは複数の監視機会を取り消すステップをさらに備える、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記動的な監視周期と関連付けられる監視機会の間に前記 SFI を復号し損ね得るステップと、
 前記動的な監視周期を示す第 2 の SFI が受信されるまで、前記デフォルトの監視周期に少

なくとも一部基づいて前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するステップと、

前記動的な監視周期を示す第2の受信されたSFIに少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するステップとをさらに備える、請求項1~4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記デフォルトの監視周期を示す制御シグナリングを受信するステップをさらに備え、
前記制御シグナリングが、セル固有の無線リソース制御(RRC)シグナリングまたはユーザ機器(UE)固有のRRCシグナリングを備える、請求項1~5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記SFIが、1つまたは複数のスロットのためのシンボルが、アップリンク通信のために構成されるか、ダウンリンク通信のために構成されるか、または予備であることを示し、
前記制御チャンネルがグループ共通物理ダウンリンク制御チャンネル(GC PDCCH)を備え、
前記動的な監視周期を特定する前記ステップが、前記受信されたSFIにおいて前記動的な監視周期の指示を受信するステップを備える、請求項1~6のいずれか一項に記載の方法。

。

【請求項8】

ワイヤレス通信のためのユーザ機器(UE)の装置であって、
スロットフォーマットインジケータ(SFI)について制御チャンネルを監視するためのデフォルトの監視周期を特定するための手段と、
受信機を介して、受信されたSFIに少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための動的な監視周期を特定するための手段と、
前記動的な監視周期に少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための手段とを備え、
前記動的な監視周期が、前記デフォルトの監視周期より長い、装置。

【請求項9】

第1の監視機会の間に、前記デフォルトの監視周期に少なくとも一部基づいて、スロットの第1のセットと関連付けられる前記SFIを復号するための手段と、
スロットの前記第1のセットの中のスロットの数に少なくとも一部基づいて、第2の監視機会を特定するための手段と、
前記第2の監視機会の間に、スロットの第2のセットと関連付けられる前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための手段とをさらに備え、
スロットの前記第2のセットが、スロットの前記第1のセットの後の次のスロットを備える、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記動的な監視周期と関連付けられない監視機会の間に前記制御チャンネルを監視するのを控えるための手段をさらに備える、請求項8または9に記載の装置。

【請求項11】

前記デフォルトの監視周期と関連付けられる1つまたは複数の監視機会を取り消すための手段をさらに備える、請求項8または9に記載の装置。

【請求項12】

前記装置が、前記動的な監視周期と関連付けられる監視機会の間に前記SFIを復号し損ね、前記装置は、
前記動的な監視周期を示す第2のSFIが受信されるまで、前記デフォルトの監視周期に少なくとも一部基づいて前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための手段と、
前記動的な監視周期を示す第2の受信されたSFIに少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための手段とをさらに備える、請求項8~11のいずれか一項に記載の装置。

【請求項13】

前記デフォルトの監視周期を示す制御シグナリングを受信するための手段をさらに備え、

前記制御シグナリングが、セル固有の無線リソース制御(RRC)シグナリングまたはユーザ機器(UE)固有のRRCシグナリングを備える、請求項8～12のいずれか一項に記載の装置。

【請求項14】

前記SFIが、1つまたは複数のスロットのためのシンボルが、アップリンク通信のために構成されるか、ダウンリンク通信のために構成されるか、または予備であることを示し、
前記制御チャンネルがグループ共通物理ダウンリンク制御チャンネル(GC PDCCH)を備え、
前記動的な監視周期を特定することが、前記受信されたSFIにおいて前記動的な監視周期の指示を受信することを備える、請求項8～13のいずれか一項に記載の装置。

【請求項15】

ワイヤレス通信のためのコードを記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、
前記コードが、ユーザ機器(UE)の装置のプロセッサによって、

スロットフォーマットインジケータ(SFI)について制御チャンネルを監視するためのデフォルトの監視周期を特定し、

受信されたSFIに少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視するための動的な監視周期を特定し、

前記動的な監視周期に少なくとも一部基づいて、前記SFIについて前記制御チャンネルを監視する

ように実行可能な命令を備え、

前記動的な監視周期が、前記デフォルトの監視周期より長い、非一時的コンピュータ可読記憶媒体。